



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <https://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大門 忠志 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,375	△25.9	187	△72.9	222	△70.0	141	△75.7
2022年3月期第3四半期	5,902	△20.4	693	△26.4	743	△24.6	582	△25.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 140百万円 (△75.3%) 2022年3月期第3四半期 568百万円 (△29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	77.62	—
2022年3月期第3四半期	319.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,849	3,907	57.0
2022年3月期	7,303	3,821	52.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,907百万円 2022年3月期 3,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	△24.3	350	△56.4	400	△53.8	310	△53.1	170.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,862,254株	2022年3月期	1,862,254株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	39,054株	2022年3月期	38,852株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,823,311株	2022年3月期3Q	1,823,648株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う政府の各種対策等により正常化に向けた動きが見られ緩やかに持ち直しているものの、円安の進行やウクライナ情勢を背景に世界的資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しておりますが、建設業界における労務単価、建設資材価格等の上昇による影響を受け、厳しい経営環境となっております。

このような経営環境のもと当社グループは、公共土木施設の強靱化へ向けた製品の獲得と利益向上へ取り組みましたが、災害復旧事業が減少していることから当社グループに関連する事業量が減少した結果、売上高は4,375百万円（前年同四半期比25.9%減）、営業利益は187百万円（前年同四半期比72.9%減）を計上し、経常利益は222百万円（前年同四半期比70.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は141百万円（前年同四半期比75.7%減）となりました。

セグメント業績の概況

型枠貸与事業

前年度までの台風や集中豪雨による災害復旧工事の減少により売上高は1,421百万円（前年同四半期比22.1%減）となり、営業利益は220百万円（前年同四半期比55.6%減）となりました。

製品販売事業

災害に対応した河川用護岸ブロックの出荷が減少し、土木シート製品の出荷は底堅く推移いたしましたものの、売上高は2,953百万円（前年同四半期比27.5%減）となり、営業損失は32百万円（前年同四半期は197百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,849百万円となり、前連結会計年度末比454百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少704百万円、流動資産のその他の増加83百万円、リース資産の増加38百万円、投資有価証券の増加57百万円及び投資その他の資産その他の増加121百万円等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,942百万円となり、前連結会計年度末比540百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少619百万円及び長期借入金（1年内返済予定含む）の増加118百万円等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,907百万円となり、前連結会計年度末比85百万円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加86百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日の「2023年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,721,008	2,754,688
受取手形及び売掛金	2,432,316	1,727,762
電子記録債権	334,231	254,117
商品及び製品	152,686	154,565
原材料及び貯蔵品	10,624	9,310
未収還付法人税等	13,043	17,398
その他	130,947	214,605
貸倒引当金	△29,784	△10,909
流動資産合計	5,765,073	5,121,538
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	200,542	238,762
その他(純額)	262,599	231,509
有形固定資産合計	463,141	470,271
無形固定資産	16,882	21,118
投資その他の資産		
投資有価証券	703,213	760,240
退職給付に係る資産	4,412	1,737
その他	497,168	618,185
貸倒引当金	△145,928	△143,818
投資その他の資産合計	1,058,865	1,236,344
固定資産合計	1,538,889	1,727,735
資産合計	7,303,963	6,849,273
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,142,037	1,522,773
短期借入金	25,000	—
1年内返済予定の長期借入金	176,000	176,000
未払金	89,091	120,104
リース債務	79,165	138,083
未払法人税等	67,739	545
その他	209,973	192,801
流動負債合計	2,789,008	2,150,308
固定負債		
長期借入金	320,500	438,500
リース債務	133,109	114,542
繰延税金負債	71,504	72,563
退職給付に係る負債	113,971	120,606
その他	54,311	45,641
固定負債合計	693,398	791,854
負債合計	3,482,406	2,942,162

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	2,220,079	2,306,901
自己株式	△66,299	△66,581
株主資本合計	3,699,899	3,786,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,657	120,672
その他の包括利益累計額合計	121,657	120,672
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,821,556	3,907,110
負債純資産合計	7,303,963	6,849,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,902,503	4,375,557
売上原価	4,200,911	3,192,854
売上総利益	1,701,591	1,182,703
販売費及び一般管理費	1,008,423	994,883
営業利益	693,168	187,820
営業外収益		
受取利息	33	11
受取配当金	19,006	21,033
棚卸資産処分益	30,314	9,729
貸倒引当金戻入額	332	9,209
保険解約返戻金	5,028	—
為替差益	139	—
その他	2,363	2,310
営業外収益合計	57,218	42,293
営業外費用		
支払利息	6,041	5,066
為替差損	—	1,823
その他	1,203	595
営業外費用合計	7,244	7,485
経常利益	743,141	222,628
特別利益		
固定資産売却益	334	—
特別利益合計	334	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	743,476	222,628
法人税、住民税及び事業税	160,572	78,058
法人税等調整額	—	3,046
法人税等合計	160,572	81,104
四半期純利益	582,903	141,523
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	582,903	141,523

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	582,903	141,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,119	△984
その他の包括利益合計	△14,119	△984
四半期包括利益	568,784	140,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,784	140,538
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,825,781	4,076,722	5,902,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,825,781	4,076,722	5,902,503
セグメント利益又は損失(△)	495,504	197,663	693,168

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	693,168
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	693,168

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,421,639	2,953,918	4,375,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,421,639	2,953,918	4,375,557
セグメント利益又は損失（△）	220,100	△32,279	187,820

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	187,820
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	187,820

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
一時点で移転される財	—	4,076,722	4,076,722
一定の期間にわたり移転される財	1,825,781	—	1,825,781
顧客との契約から生じる収益	1,825,781	4,076,722	5,902,503
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,825,781	4,076,722	5,902,503

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
一時点で移転される財	—	2,953,918	2,953,918
一定の期間にわたり移転される財	1,421,639	—	1,421,639
顧客との契約から生じる収益	1,421,639	2,953,918	4,375,557
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,421,639	2,953,918	4,375,557